

Rotary



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2022/OCTOBER

10

月信 Vol.04

CONTENTS

地区大会でお会いしましょう 2

国際ロータリー第2520地区

2022-2023年度ガバナー 天沼 久純

地域社会の経済発展月間によせて 3

—盛岡バスセンターの開業にあたって—

盛岡ローカルハブ株式会社

代表取締役社長 佐藤 光彦

米山月間によせて 4

米山記念奨学会委員会

委員長 清水 努(塩釜RC)

鈴木俊一直前ガバナー慰労会 5

よねやま親善大使紹介、奨学生レポート 5

会長フォーラム開催報告 6

ガバナー公式訪問報告 8

新入会員紹介・退会会員報告・寄付報告 10

2022-2023年度行事予定表 11

お知らせ 11

編集後記 11

行動しよう世界ポリオデー 11



地区大会でお会いしましょう

国際ロータリー第2520地区
2022-2023年度 ガバナー

天 沼 久 純

Hisazumi Amanuma

年度がスタートして、3ヶ月が過ぎました。公式訪問も皆様のご支援とご協力のおかげで順調に進めさせていただいております。ありがとうございます。

地区の事業についても、同様に順調に開催できております。

8月6日地区ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナー、7日ローターアクト前期会長幹事会、8日インターアクト年次大会と、新型コロナウイルス感染が拡大する中、無事に対面で（ローターアクト会長幹事会の一部 Zoom）開催し、多くの感動と友情をいただくことができました。また、9月には会長フォーラムやロータリーデーが開催されました。9月の行事については後日の月信で報告したいと思います。

さて、地区大会が1ヶ月後に迫ってまいりました。11月4日は記念ゴルフ大会をメイプルカントリークラブで、5日は大会各種委員会、役員懇親会、6日は本会議、記念演奏会、大懇親会を盛岡グランドホテルで予定しております。

記念演奏会は、ウクライナ出身のカテリーナさんによる「民族楽器バンドウーラ」の演奏です。カテリーナさんは日本で活動しており、最近はニュースなどでよく紹介されていますの

で、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。ロシアによる侵攻が続くウクライナに少しでも支援の気持ちを伝えたい、そんな思いから企画しました。平和を祈りながら、演奏も楽しんでいただきたいと思います。ウクライナの支援については、ロータリー災害救援補助金より、第2520地区を含め15地区でそれぞれ25,000ドルずつ拠出することが決まっていることをご報告いたします。

大懇親会は、工夫しながら with コロナでぜひ開催したいと思い、対策を考え中です。

今年度は11月という事業年度の間で地区大会を開催いたしますので、地区やクラブの事業を中間地点でそれぞれ振り返り、後半の奉仕活動に繋げていく大会にしたいと考えています。ジェニファー・ジョーンズ RI 会長のテーマである「イマジン ロータリー」、第2520地区のスローガンである「もっと育てよう！奉仕と友情」について改めて考え、後期の活動に繋げて行こうではありませんか。むずかしく考えることではありません。会長の皆さんの積極的で前向きな姿勢がまわりを動かします。元気いっぱい活動していきましょう。

皆さんの参加をお待ちしております。



地域社会の経済発展月間によせて ～盛岡バスセンターの開業にあたって～

盛岡ローカルハブ株式会社
代表取締役社長

佐藤 光彦

2022年10月4日、いよいよ新しい盛岡バスセンターが開業いたします。

旧盛岡バスセンターが営業を終了したのが2016年9月30日ですから、丸6年が経過しての開業となります。この6年間、早期完成を目指し全力で事業を推進してまいりましたが、地域の方々には感謝しきれないほど支えていただきました。地元商店街やまちづくり団体等の皆様に盛岡バスセンターおよび周辺地区活性化協議会を設立していただき、旧盛岡バスセンター解体後の土地を「SIDE-B」としてイベント等に活用していただいたほか、工事に着手してからは「かなかなラボ」として情報発信等に取り組んでいただいたり、バスセンターのアートウォールづくりのワークショップを共催していただいたり、切れ目のない応援をいただいたことがこの度の開業の大きな原動力になったことは間違いありません。

新しい盛岡バスセンターは、盛岡市がバスターミナル機能を整備する主体として、盛岡ローカルハブと親会社である盛岡地域交流センターが民間収益施設の事業検討からリーシング、施設整備を担う主体として、行政と民間が役割を分担し事業を推進する、いわゆる公民連携事業として事業を進めてまいりました。

事業の初期段階には、立場の異なる行政と民間が一体となり事業を推進できるよう、共通の目標となる基本計画を河南地区の歴史性や現状を踏まえて策定しました。

基本計画では、地域のリソースを活かしながら新たなサービス産業を構築し、バスセンターに人や物を集め地域経済の好循環に貢献することをミッションに設定し、人と地域の魅力をつなぐ結節点“ローカルハブ”というコンセプトを掲げました。これらは、事業検討を進める上での視座として機能したと思っています。

このようなミッションとコンセプトのもと、1階はバスターミナル機能とマルシェのフロアとして、

福田パンさんや阿部魚店さん、丸基屋さんなど地元の事業者さん8店舗が入居しています。2階は盛岡市が運営する子育て支援センターとフードホールのフロアで、フードホールは、ベアレンさんなど、地元の飲食店4店舗で構成されています。フードホールには、建物のシンボルとなる内と外から見える大型の時計が、国際ロータリー第2520地区様の御厚意により設置されております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

そして3階は、ホテル、スパ/サウナのフロアで、ヘラルボニーのアートを取り入れたホテルマザリウム、KANAN SPA、穂吉敏子(=秋吉敏子)ジャズミュージアム・カフェバーという魅力ある施設構成となっており、遠方からの目的地になり得るホテルを目指しています。

また、バス機能については、バス会社様の協力もあり、コロナ禍の影響を受け、運休している路線以外は概ね従前の路線が戻りましたし、新規路線も数路線乗入れていただきました。

関係各位の協力のもと、そして地域の方々に支えられて開業することが出来た盛岡バスセンターです。これから長い年月をかけて、真の“ローカルハブ”として地域経済の好循環に貢献してまいりますので、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。





米山月間によせて



米山記念奨学会委員会
委員長

清水 努 (塩釜 R C)

毎年 10 月は、米山月間です。

“米山を知ろう！”そんな願いを込めて、入会歴の浅いロータリアンの皆様に事業の基礎知識、奨学生の国際交流の事例、そしてよねやま親善大使について書かせていただきます。

1. ローターリー米山記念奨学金の特長

・世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となります。奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り、交流します。さらに、世話クラブの会員が「カウンセラー」になって、日常の相談役を務めます。1971年にカウンセラー制度が導入されて以来、奨学生とカウンセラーによって国際交流と親善の歴史が育まれてきました。

・民間最大の国際奨学事業

2022 学年度の奨学生数は 898 人、民間奨学金では国内最大規模。これまで累計奨学生は 22,875 人、その出身国は世界 129 の国と地域に及びます。多くの奨学生が母国で活躍し日本との架け橋になっています。

2. 寄付金について

☆今年度は 880 人の未来を支えます

米山奨学会への寄付は普通寄付金と特別寄付金の 2 種類があります。2021 年度の寄付金収入は 13 億 4,579 万円、全国個人平均寄付額は 1 万 5,971 円。当地区は約 7,700 円となっています。全国 34 地区中 33 番目と低ランクになっています。

☆奨学生は寄付額と連動しています

米山奨学生の採用数は、ほぼ寄付額で決まります。中でも「個人平均寄付額」は地区の規模に左右されることなく寄付増進の成果が反映される指標の一つです。1 人でも多くの奨学生を受け入れるため継続的なご支援をお願いします。

3. 奨学生と小中学生との国際交流会を長年継続しているクラブの事例紹介

大崎市の岩出山ロータリークラブでは、毎年

(2020-2021 年度はコロナのため中止) 郷土や国際社会について理解を深め異文化との共生を図る目的で米山奨学生を招き、小中学生との国際親善交流を開催しています。この取り組みは 17 年間続けられています。奨学生は自国の風習や歴史を紹介し、昼食を共に楽しみます。今年は 3 年振りに 11 月に再開される予定です

4. 地区大会によねやま親善大使が来ます (第 2520 地区で初めての事です)

皆さんはよねやま親善大使をご存知ですか。よねやま親善大使は、米山学友(元奨学生)から選ばれ日本全国の地区を訪問し、スピーチと交流によって米山記念奨学事業の理解を深める PR 活動をしています。全国に 3 人のよねやま親善大使がいますが、当地区の地区大会本会議に、トゴ出身のアドゥアヨム・アヘゴ・アクエテビさんが来てスピーチをする予定です。会員の皆様との交流を楽しみにしています。

最後に世界の米山学友が大集合する一大イベントをお知らせします。

第 3 回世界米山学友による集い「再会 in 関東」が 2023 年 8 月に茨城県つくば市にて開催します。ロータリアンとの交流も企画されています。是非当地区からも多くの参加を期待しています。

☆変わらぬご支援をお願いします

ロータリー米山記念事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の多地区合同の活動です。

国際親善と世界平和に寄与したいという事業設立時のロータリアンたちの強い願いを受け継いでいます。コロナ禍の中、交流の機会が減っている今こそ、異国で勉学に励む米山奨学生にとってロータリアンの皆様による心の支えが必要です。奨学生・学友とのパイプを太くし一人でも多くの方々にこの奨学制度の意義を実感していただければと思います。

今後も皆様のご支援とご協力をよろしく願います。

鈴木俊一直前ガバナー慰労会

代表幹事 藤村 祐介 (盛岡南RC)

2022年8月27日(土) 鈴木俊一直前ガバナーの慰労会が、多くのパストガバナーのご出席の下、ウェスティンホテル仙台で開催されました。岩松仙台南クラブ直前会長、一年間ガバナーと行動を共にされた星毅直前代表幹事をはじめとする幹事団にもご出席いただきました。鈴木俊一直前ガバナーのご功勞に対し感謝の意を込めて、天沼ガバナーより記念品が贈られました。鈴木俊一直前ガバナーは「地区大会が三年ぶりに対面式で開催できたこと、ヒューストンでの国際大会に参加できたことなど、皆様のおかげで充実した活動ができた」と感慨深げに感謝の言葉を述べられました。本当にお疲れ様でした。



左から天沼智子令夫人、天沼ガバナー、鈴木俊一直前ガバナー、京子令夫人。

第2520地区地区大会へ よねやま親善大使 がいらっしやいます

11月6日(日) 地区大会本会議に出席される、よねやま親善大使のアドゥアヨム・アヘゴ・アクエテビさんを紹介いたします。



2020-22 年度 よねやま親善大使

アドゥアヨム・アヘゴ・アクエテビさん

奨学期間：2014/04/01 - 2015/03/31
世話クラブ：国際ロータリー第2560地区
新発田城南RC

トーゴ出身。母国大学を卒業後、最新の義肢装具と福祉機器を研究するために来日。2013年、新潟医療福祉大学大学院修士課程義肢装具自立支援学分野に入学、翌年米山奨学生となる。大学院博士課程3年時に、整形外科分野の国際科学雑誌 EC Orthopaedics から最高論文賞を授与される。2016年、義足の普及活動と研究を目的に、義肢装具のサテライトオフィスをガーナに開設。中古の義肢装具や部品を集め、それをリサイクルし、安価で高品質な義肢装具の製作にも取り組んでいる。

2018年3月、博士号取得。早稲田大学のスポーツ科学学術院でバイオメカニクスの研究助手を務めたのち、現在の株式会社ドリーム・ジーピー研究室 研究員となる。英語、仏語が堪能。2020年東京オリンピック・パラリンピック トーゴ代表選手の義肢装具提供プロジェクトに関わっている。2020年7月より、第4代よねやま親善大使として委嘱を受け、活動を開始。2021年1月より、ガーナの公立大学、ヘルス・アンド・アライド・サイエンス大学講師として、オンラインで義肢学・装具学・バイオメカニクスを教えている。

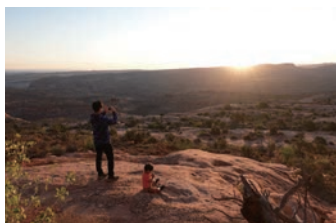
奨学生レポート

2020-2021-2022-2023年度
ロータリー財団グローバル補助金奨学生

工藤 敬

岩手県出身。アメリカ国立衛生研究所で卵巣癌における新規治療戦略を研究。
ホスト地区：第7620地区(アメリカ・メリーランド州)、ホストRC：Metro Bethesda RC

2021年2月に渡米し、早いもので1年半が経過致しました。卵巣がんにおける新規治療戦略の開拓を目的として渡米しており、幸いなことに研究も順調に進み論文発表までもう少し、という状況です。周囲には世界的



夏休みに訪れたアーチズ国立公園にて朝日鑑賞

に有名な学術誌にも名前が載るような研究者がゴロゴロおり、非常に刺激的な環境です。できるだけ多くの知見を吸収し日本へ持ち帰りたいと思っております。

留学当初はまだ猛威を振

るっていた新型コロナウイルス感染症ですが、だいぶ規制や制限は緩和されたように思います。日本ではいかがでしょうか。勤務当初はすべてのミーティングがオンラインで行われていましたが、現在はようやく in person (対面)で行うことができるようになりました。週1回のラボミーティングでは、みんなが研究内容を発表しながらコーラやスナックを穏やかに楽しんでいます。まだ楽観視できない状況ではあるものの徐々に落ち着きを取り戻してきた感があり、外食や国内旅行も大分気軽にできるようになりました。せっかくの機会ですので、日本にいるときにはなかなか行けないような観光地にも積極的に訪れ、かけがえのない経験をさせていただきたいと思っております。

とんでもなく長いと思っていたアメリカでの研究生活ですが、過ごしてみればこの1年半はあっという間でした。きっと残りのアメリカ生活もあっという間に過ぎるのでしょう。今後このような貴重な経験はなかなかできないと思っておりますので、残りの期間も1日1日を大事に満喫していきたいと存じます。もうしばらくの間、アメリカンライフを満喫させていただければ幸いです。今年の夏休みはイエローストーン国立公園に行き、目も眩むような大自然に触れてこようと思います。体力づくりをしなくては!

最後になりましたが、皆様の多大なご支援により、このような素晴らしい経験ができていことに心より御礼申し上げます。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしく願い申し上げます。

会長フォーラム 開催報告

ロータリーの DEI (多様性、公平さ、インクルージョン) を考え、会員増強につなげていくため、第 2520 地区として初めて会長フォーラムを 9 月 4 日 (日) 盛岡グランドホテルにて開催しました。クラブ会長を中心に、会員増強・戦略計画委員会、公共イメージ・女性会員活性化委員会、RLI 委員会から計 109 名が参加されました。菅原裕典パストガバナー・RI 研修リーダーの講演の後、A から K まで 11 のグループにわかれ、RLI 委員にディスカッションリーダー (DL) を務めていただいて、DEI をテーマに討論会を行いました。

天沼ガバナー 挨拶

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長が「イマジン ロータリー」のテーマのもと推進する DEI をより理解していただき、会員増強にうまく繋げていただける機会にさせていただきたいと考えています。また、情報交換することによって、何か参考にできることがあるのではないかと考えています。新型コロナウイルス感染拡大が収まらない中、せっかくお集まりいただいたのですから有益な情報を持ち帰ることができるよう願っています。各クラブの会長の皆さんが、今年一年元気で活躍していただき、クラブの活性化に繋げていただくことを期待しています。

会長フォーラムで招集者 天沼久純ガバナーより「会員増強と DEI」についての講演依頼をいただきました。天沼ガバナーエレクト年度にクラブ会長対象に PETS が開催されていますが年度スタートしてこの時期に会長フォーラムを開催することはとても効果的と考えています。クラブ会長が年度スタートして 3 ヶ月目に入ると運営にも慣れ、事業も行われていきます。その中で日本のロータリークラブの課題は会員増強と



会員維持です。DEI を理解しながら会員増強を行います。クラブの最大の財産は会員です。会員増強でクラブの価値が高まります。会長フォーラムに参加した皆さんには是非会員増強への取り組みをお願いします。

2021・22年 RI 研修リーダー・
パストガバナー
菅原 裕典

菅原裕典パストガバナーが講演で使用された資料 (パワーポイント) は地区ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。
<https://ri-d2520.com/doc/information09.pdf>

グループ A 皆様の自己紹介やクラブの特色などをお話して頂いた後、テーマである「会員増強につながる DEI」について楽しく討論をすることが出来ました。討論会では自分自身のクラブに対しての満足度が大事ではないかというご意見や会員の増強も大事だが会員の退会を少なくすることも大事だというご意見もありました。最後のまとめとして DEI (多様性、公平さ、インクルージョン) 即ち私たちは、それぞれの違いを理解し、受け入れ、公平な機会を提供しあう事が最終的な会員増強につながるというまとめになりました。オブザーバーとしてテーブルについて頂きました天沼久純ガバナー、田中広江ガバナー補佐にもご指導を頂き誠に有難うございました。(報告: RLI 委員長 柴田茂 (盛岡東 RC))

グループ B 研修会は、定刻に RLI 方式で始まり、私の担当は、B グループで 5 名の会長、地区委員の方々とオブザーバーとして伊藤地区研修リーダー、菅原ガバナー補佐の 7 名の皆さんと研修が行われました。研修の内容は、最初に会員増強に対する現状の取組について各会長の方々にお話をいただき、更に各クラブにおける会員の満足度調査等の話と退会防止についての取組に関しての話をいただきました。最後に、DEI への取組について会長さん方に発表していただきました。RLI 方式による研修については、①各クラブの話聞いて大変参考になった、②自分たちのクラブでも取り組むべき事柄が明確となった、③このクラブでも同じ様な悩みを抱えていることもわかった、④ DEI については限られた時間内の十分な話し合いが難しかった事が反省点となり、非常に前向きな参加者の受け止めであった。DL の感想は、活発で有意義な話を皆様から伺う事が出来て楽しい研修となりました。(報告者: RLI 副委員長 小川隆秀 (村田 RC))

グループ C 【会員増強についての討議】 ①会員の満足度について: 討論に参加した 6 クラブの会員数は、7 名から 73 名と幅がある。平均の出席率は 70% 前後となるので、出席者がある程度満足していると考え、満足度は 70% と考えられる。②ロータリーの満足度とは何か: 東日本大震災の時、他のクラブから様々な支援を受けた。例えば豊かな海づくりにプロジェクトにブナの木 2000 本の植樹に対し、全国から延べ 1200 人の方々から支援を受けた。現在は、支援を受けた方々と親睦を深め交流している。③会員向けのアンケート調査を行っているか: アンケート調査は、していない。④定着率の向上について: ロータリー活動の普及 (社会奉仕・親睦)・被災後約 35% も人口が減少したが、夜例会には、各家族が夫人や御子息・お孫さんも出席し、親睦を深めている。【ロータリーの DEI の取り組みについて】 ⑤ DEI は、クラブにはどのように役立つか?: DEI に基づいて、モンゴルの奨学生を受け入れた。モンゴル村などを創り交流を深めた。その後卒業して現在は会員となっている。異業種の新入会員を迎えたところ、大いにクラブが活性化した。(報告者: RLI 委員 木村清且 (花巻北 RC))

グループ D 会員増強は今までもこれからも続く重要なテーマであるとの共通認識でした。

その為には自分自身がロータリーを楽しんでいるのか、ロータリアンとしての自覚と行動はどうか、満足しているか、が何よりも大切と言う事です。例会については早朝例会、夜間例会を組み入れ又ゲストスピーカーの卓話や美味しい食事の提供など例会を充実させる。ゲスト会員や新入会員等にはロータリーに精通しているベテラン会員がテーブルマスターを決め、特に新人会員にはロータリーの魅力や奉仕活動の大切さを話してもらいゲスト会員には会話を通し和んで頂く工夫をしている。2~3 年会員にも適時適切なポストを与えて存在感を高めてもらう。会長自身が勧誘に向向いて入会を勧める、又ロータリー機関誌を主たる事業所に置いて頂きロータリー活動の存在意義を高め更に認知度も上げていく事で入会や、ひいては、定着率にもつながるのではないかと。DEI については包括的に多様性、公平さ、人種、宗教、マイノリティ等も含めそれぞれの違いを理解し皆が公平な場面に有し一人一人を尊重し合い機会を提供出来るよう取り計らいすると言うことで纏まりました。皆様の忌憚のないご意見で楽しい 1 時間に感謝申し上げます。(報告者: RLI 委員 高橋文人 (築館 RC))



ディスカッションリーダーを務めた RLI 委員会の皆様 (敬称略)

- 前列左より:
高橋文人 (築館 RC)
小川隆秀 (村田 RC)
柴田茂 (盛岡東 RC)
木村清且 (花巻北 RC)
夏目雅貴 (仙台冠 RC)
後列左より:
齋藤豊 (久慈 RC)
鎌田善幸 (仙台泉 RC)
岡竹博昭 (仙台 RC)
小池康浩 (仙台泉 RC)
本木浩喜 (仙台泉 RC)
山地信行 (盛岡北 RC)

グループ E グループ討論で「会員増強・DEIの促進について」を主題に、関連した項目をお聞きしながら意見交換を進めました。入会の動機、続けている理由では、「断り切れず」、という理由が思ったより少ないのが意外でした。クラブを続けている理由や満足感についての話では会員増強と退会防止につながる多くのヒントがあったと思います。中には例会開始の1時間前から集まり雑談、終了後も残った会員が雑談するのが通常という、非常に満足感の高さがうかがえるクラブや、身内に会員がいる場合は会費を半額にする制度など興味深い話が出ました。会員増強や定着にはクラブ内での立ち位置、役割、親睦、責任が等しく重要と改めて認識しました。最後に主婦業も職業では？と出たところで時間となりました。私としては他のクラブのお話を聞けて良い刺激を受けました。つたない進行でしたが参加された皆様が少しでも有益な時間だったと思って頂けたら何よりです。ありがとうございました。(報告者：RLI委員 齋藤豊(久慈RC))

グループ F まず「会員増強」について討論していただきました。印象的な意見として、「一時は数名まで会員が減少したが、現在は20名程度に増加した」と会員増強に成功しているクラブ、「コロナ禍による交流不足が会員の減少につながっている」「周年事業が終わった後に退会者が増えた」というクラブもあり、成功しているクラブもある一方、悩みを抱えているところもあると実感しました。また「JIC出身のメンバーも多いので、JICの出身者を勧誘する」などの具体的な増強対策や「休会制を導入して、退会の防止に努めている」「入会に際しては、トライアル制を取り入れている」「家族会員制や親子会員を推奨している」など退会防止や入会方法に関しても各クラブ様々な工夫をされていると感じました。中にはDEIに繋がるお話もあり、それを受け、引き続きDEIについて話し合っていました。「居心地の良いクラブを目指しており、会員満足度を高めている」「ロータリーは大きな家族であり、お互いの個性を認めることに努めている」と、DEIの理念を自然に実践しているクラブもありました。参加者の方は会長の皆様でするので、クラブへの熱い思いが伝わると意見が多く聞かれました。(報告者：RLI委員 鎌田善幸(仙台泉RC))

グループ G ディスカッションでは、会員増強・会員定着・女性会員獲得と、参加された会長・幹事の皆様には、喫緊の課題の為、積極的にご発言頂きました。
【現会員の満足度向上について】移動例会や、趣味の同好会等作り親睦会を充実させる。卓話を充実させる。誕生日・結婚記念日祝い等行い、会員を大切に。退会しないよう紹介者が責任を持ってフォローしてもらう。
問題として、親の介護で退会者が出ている。
【会員増強について】知り合いにアンケートを取り、例会見学につなげる。親が子に会員を引き継ぐ際は、入会金を取らない。
問題として、一定の団体に偏ったリクルートに頼っている、また、そこにグループが出来てしまう。入会候補者がいても、現会員と職業が被ると誘いにくい。
【DEIについて】グループG参加の半数のクラブが、女性会員が居ませんでした。問題として、女性が居ないクラブに女性1人で入会するハードルが高い。会費が高い。一部の会員が反対する。
今回の討論会では、活発な意見交換が出来、とても良い会になったと思います。また、昨年度のRLIでは全てオンライン開催になり、対面でのDLが初の体験でしたので、DLに必要なスキルや心得を学べ、素晴らしい機会を頂きました。感謝申し上げます。(報告者：RLI委員 本木浩吉(仙台泉RC))

グループ H 【会員増強について】若い人がひとり入会すると、芋づる式に数名加入することも多い。外部のゲストスピーカーを卓話にお招きし、その後クラブに勧誘。現在、会員の人脉(上下関係等)で勧誘しているが、重要なのは自クラブの魅力をどう伝えられるか。
【会員維持(定着率)向上について】委員会活動を通じて会員相互の接触機会をつくり親密さを深めている。例会でのテーブルを工夫し、世代間の交流の機会を創造。ゴルフやボウリング大会等、密にならなくても開催可能な親睦行事を複数回実施。会員が興味を持つような卓話を行い、クラブの魅力度をあげている(特に、外部卓話)
【DEIの取り組みについて】女性会員の勧誘は行っているものの入会までには至らないケースが多い。高齢化している現状を考えると、若年層の入会が世代の多様性につながると考えている。ゲストスピーカーによる卓話で様々な価値観に触れてもらうようにしている。(報告者：RLI委員 岡竹博昭(仙台RC))

グループ I グループIの討論会は参加いただいた各クラブ会長よりそれぞれのクラブ満足度を自己評価して頂き、それをもとに「満足度とはどのように考えているか」、「アンケート等を行い会員の声を理解しているか」、「会員の定着率を向上させる方法を取っているか。またそれを実行するには何が考えられるか」、「DEIはクラブにとってどのように役立っているものなのか」、を討論して頂きました。クラブの数だけご意見があり、非常に個性的な取組みを聞かされ大変勉強になった討論会となりました。会長各位は時に冷静に、また熱く語っていただきスタート直後は発言者を指名しておりましたが、参加者各位自らの発言が積極的となり、限られた一時間はあっという間に過ぎてしまいました。最後に立ち寄っていただいた伊藤PGにご助言いただき閉会となりました。(報告：RLI委員 山地信行(盛岡北RC))

グループ J 会員増強には現会員の定着率向上が欠かせないとの観点から、クラブ員の満足度を尋ねたところ、伝統を重んじるベテラン会員と柔軟な運営を求める新しい会員との間に意識のずれがあることが明らかになりました。一部のベテラン会員にクラブが変化していくことへの不満がある一方、若手会員には入会前に思い描いていた組織とは違っていた、もっと時代の変化に柔軟に対応してほしいといった意見があります。また、コロナ禍での会員同士のコミュニケーション不足も指摘されました。対策としては①若い会員に委員長を引き受けていただき、ベテラン会員がサポートする体制を整える、②若手会員にイベント参加を促す、③各種愛好会を立ち上げてコミュニケーション強化を図る、等の意見が出されました。続いてDEIについての取り組みをお聞きしたところ、女性会員への対応に関する取組み事例が多く寄せられ、まだ女性会員のいないクラブにとっては有益な情報になったと思われます。(報告：RLI委員 小池康浩(仙台泉RC))

グループ K とても活発な意見交換がなされておりまして。特に印象的だった話題は現会員の定着率についてです。参加された各クラブの会長・幹事の皆さんも会員増強と同様か、それ以上に各々のクラブにて試行錯誤をしながら取り組んでいると感じられました。やはり、現会員の満足度が会員増強やその他の活動の起点となることを再認識いたしました。また、DEIに関する場面では「女性会員の勧誘について特別視(ひとりで男性所帯のクラブに入るのは可哀そう、など)するのは男性側の気の回しすぎであって、社会に出ている女性のほとんどはそのような気遣いは無用」というような意見もでた。当グループにも複数名の女性会員が参加いただいていたが皆同様の見解だった。例外ももちろんあるが、このような考えが広く認識されていけばDEIを態々と意識することのないコミュニティを築いていこうとまとまる。(報告者：RLI委員 夏目雅貴(仙台冠RC))

講評 「会長フォーラム」で感じたこと 地区研修リーダー・パストガバナー 伊藤 智仁(花巻南RC)
ロータリーでは、リーダーシップ習得の手段として毎年クラブ会長が交代します。会長は毎年発表されるロータリーテーマを基に自クラブの活動を通じて肉付けを図ります。昨今は、DEIを活かし世界を幸せにする仲間を増やすこと、即ち、会員の拡大に一生懸命です。今回は、会員増強とDEIについてRI研修リーダー菅原裕典PGより講話を頂き、その後11グループでRLI方式によるグループ討議を行いました。傾向として高齢化するチャーターメンバーの世代交代が一気に進んできていると感じます。大変望ましいことですが、より一層「ロータリーとは何か」を明確に示すことが求められます。ロータリーは社会の基盤である職業を磨き上げて社会貢献を図る組織です。兎角、貢献と語ると身を捨てて尽くすように感じますが、ロータリーが目指しているのは職業の充実と社会の幸せの一致です。このことをひとり一人が心にとめて行動を起こすこと。そして、その行動がロータリーを社会に知らしめるインパクトとしてイメージされなければなりません。その実現の為に毎週異業種のリーダーから様々な情報が得られるように運営している組織です。世間の皆さんがロータリーと聞いて思い浮かぶのがロータリアンの人物像であれば何よりであります。今回は、沢山の経験談から各自の思いが一層固められた様に感じます。

ガバナー公式訪問 報告

第8分區 柴田・村田・大河原ロータリークラブ

■開催日:7月20日(水) ■会場:道の駅村田 2F会議室
 ■同行者:櫻井淳一 ガバナー補佐 三塚訓男 副代表幹事



柴田RC



村田RC



大河原RC

午前10時、天沼ガバナーをお迎えして別会場にて3クラブ合同の会長・幹事会が開催された。ガバナーからは、地区スローガンを中心に話があり、その後、各クラブの課題とその対応についての意見交換がありました。和やかな中にも、真剣な話し合いが出来たことに深く感銘を受けました。午前11時30分から、会場を移して公式訪問がスタートしました。ガバナーのスピーチでは、ローターアクト活動への注力、RI会長が進めるDEIへの取組み、9月開催の会長フォーラムについて、今年度のロータリーデーでの清掃活動、2月開催の世界ポリオデーへの取組み等々、今年度に懸けるガバナーの意欲が漲る話をいただきました。続いて、櫻井ガバナー補佐からは、担当地域のクラブ活動を協力・支援をし、ガバナーの地区スローガンの実践を行いたいとの心強い話をいただきました。今回のガバナー公式訪問は、コロナの第7波に直面していたため、その対策に注力し、各ク

ラブの写真撮影を慌たたく実施した次第でした。昼食には、弁当を用意し、お持ち帰りいただくこととなりました。ロータリアンの皆様の友情に深く感謝を申し上げます。(報告者:小川隆秀/村田RC会長)

第2分區 水沢東・前沢ロータリークラブ

■開催日:7月26日(火) ■会場:ラピス・ラズリィ/Zoom開催
 ■同行者:高橋一隆 ガバナー補佐



会員の多い水沢東RCと、会員の少ない会場提供の前沢RCで「初めて尽くし」の開催となりました。Web設定がうまくいかず開催時間は遅れ、ガバナーと音が通じず、時間制限があるためWeb切替も二度。水沢東RCのIT精通会員の支援も頂き、本当の意味での合同例会ができました。

コロナ禍の為会場を広く使い、大きなスクリーンを通して天沼ガバナーのお話しを伺う事ができました。掲載の写真もカメラ担当会員に無理難題をお願いした作品です。ガバナーからは当クラブの事情(IT音痴)を察して頂き、「何事も初めてのことを失敗しながらやる姿勢が大事」と温かい言葉を頂き、同じロータリアンに免じてお許し頂き無事開催できました。たぶん担当した私には今後も思い出に残るガバナー公式訪問でした。(報告者:鈴木勇基/前沢RC幹事)

第1分區 盛岡北ロータリークラブ

■開催日:8月3日(水) ■会場:ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
 ■同行者:田中広江 ガバナー補佐 三塚訓男 副代表幹事



会長幹事会で、例会の充実・例会のあり方(進め方、開催時間、回数)の検討を考えている事をお伝えしました。会員数の減少と共に出席率の低下が問題となっている状況を解決する方法として、新たに「会友制度」を創設した旨を説明しました。法人会員が多い事情から、退会後も繋がりを持ち続ける意味や、やむを得ない事情により退会した会員が戻り易くする機会としてこの制度が活かされることを期待していることも併せて説明しました。例会でガバナーより現在の活動の考え方の基本として「DEI」は、「Diversity」「Equity」「Inclusion」が重要であることのご説明をいただきました。来訪頂き、貴重なお話が聞くことが出来たことも勉強になったと感じています。(報告者:藤澤大祐/盛岡北RC幹事)

第2分區 花巻・花巻南・花巻北ロータリークラブ

■開催日:8月2日(火) ■会場:花巻温泉 ホテル紅葉館
 ■同行者:菅原忠勝 ガバナー補佐 工藤拓也 事務局長



花巻3RC合同天沼久純ガバナー公式訪問例会が花巻RC、花巻南RC、花巻北RCの花巻市内の3つのRC合同により開催されました。

まずはクラブ協議会を開催し、3RCからの事業計画の発表を行い、それぞれの事業について意見交換を行いました。続いて、合同例会を行い、天沼ガバナーよりご講評をいただきました。最後に、公式訪問の歓迎懇談会を行い、交流を深めさせていただきました。コロナ禍の中にも関わらず、多くの方々にお越しいただき感謝申し上げます。今後も感染予防対策を行い、様々な事業を通して奉仕と友情を一歩ずつ進めてまいります。(報告者:高橋智彦/花巻北RC幹事)

第1分區 種市・久慈ロータリークラブ

■開催日:8月4日(木) ■会場:久慈グランドホテル
 ■同行者:佐々木裕子 ガバナー補佐 小笠原敏之 副代表幹事



2クラブ合同例会に先立ち、会長幹事会にて各クラブの現状と重点目標について意見交換を行いました。各クラブとも会員増強が課題であるとの認識で会員数減少が進む中合同でイベントを企画実施するなど柔軟な対応も必要では…など貴重な意見も頂きました。ロータリーアクトやインターアクトとの関わりについても議題となりました。

会議終了後開催された合同夜例会ですが、大変有意義な懇親会となりました。コロナ禍の中「出来るだけ対面で」をモットーとした天沼ガバナーの熱い気持ちに感謝しています。ガバナー月信の電子化についても「コスト削減に有効な手段であること」、「電子化社会に取り残されないロータリーに」など丁寧にご説明いただきました。

久慈RCは本年創立60周年を迎え10月1日の記念式典に向け準備中です。天沼ガバナーからいただいた貴重なご意見を励みとし、これからの活動をより良いものとしていきます。

天沼ガバナーはじめ佐々木ガバナー補佐、小笠原副代表幹事、そして種市RCの皆様ありがとうございました。御礼申し上げます。(報告者:下川原章勝/久慈RC幹事)

第1分區 盛岡ロータリークラブ

■開催日:8月5日(金) ■会場:盛岡グランドホテル
 ■同行者:田中広江 ガバナー補佐 小笠原敏之 副代表幹事



海野尚会長の歓迎のあいさつがあり、和やかな内に会長幹事会、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

天沼ガバナーから当クラブ継続事業について質問があり、環境保全ポスターの募集事業等々をお伝えしました。

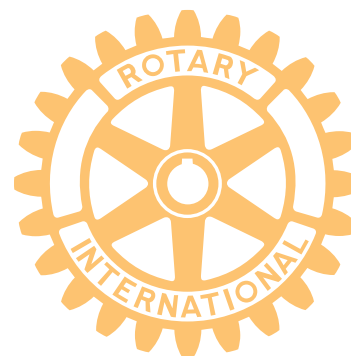
更に、天沼ガバナーから次のような要望がありました。9月25日のロータリーデーの実践に当たり、清掃活動等の奉仕活動を行って欲しい。(→この要望に対し、海野会長は明年4月20日頃の観桜会前に、当クラブ植樹地の清掃を行う事を例会後に表明)。10月24日は世界ポリオデー、ロータリーカードの利用推進、ガバナー月信2号からのネット配信、地区大会開催に向けての協力の御願ひ、などの説明もありました。(報告者:下道利幸/盛岡RC副幹事)

新入会員紹介

 久慈 RC 藤森 保則 2022.7.3 入会 建設コンサルタント	 二戸 RC 足立 裕 2022.7.5 入会 和洋菓子製造販売	 盛岡中央 RC 下坂 秋博 2022.7.1 入会 生命保険	 盛岡中央 RC 室岡 直樹 2022.8.8 入会 金物小売業	 盛岡西北 RC 高橋 奈緒美 2022.7.1 入会 医薬品配置販売	 盛岡西北 RC 岩 館 諒 2022.8.17 入会 不動産業	 盛岡滝ノ沢 RC BATTULGA KHUSLEN 2022.7.1 入会 医療
 盛岡滝ノ沢 RC 小川 敦雄 2022.7.12 入会 訪問看護・医療コンサルタント	 北上和賀 RC 伊藤 正治 2022.8.17 入会 生活・住宅サービス	 前沢 RC 三浦 國彦 2022.8.10 入会 総合建築	 千厩 RC 滝沢 徳雄 2022.7.5 入会 幼稚園	 宮古 RC 石曾根 巧 2022.7.1 入会 小売業	 宮古東 RC 小原 武義 2022.7.26 入会 電力供給業	 宮古東 RC 飯田 大輔 2022.8.1 入会 電気通信工業業
 佐沼 RC 村上 正弘 2022.8.4 入会 電気工事請負	 七ヶ浜 RC 鈴木 洋市 2022.7.25 入会 燃料販売	 七ヶ浜 RC 加藤 貴久 2022.7.25 入会 保険代理店業	 七ヶ浜 RC 今井 達夫 2022.7.25 入会 電力供給	 仙台 RC 草柳 友彦 2022.8.23 入会 ホテル	 仙台 RC 海山 裕 2022.8.23 入会 損害保険	 仙台 RC 辻村 和人 2022.8.30 入会 全国放送
 仙台 RC 小宮 仁奈子 2022.8.30 入会 百貨店	 仙台南 RC 淀 華恵 2022.9.15 入会 ホテル	 仙台北 RC 小暮 雅一 2022.9.7 入会 建築設計監理及び保守	 仙台北 RC 内田 健一 2022.9.14 入会 ガス保安機器販売	 仙台宮城野 RC 千葉 正幸 2022.8.18 入会 造園業		

退会会員報告

クラブ	氏名	職業分類	退会日
佐沼	後藤 和人	金融業	2022/8/4
仙台	横尾 努	ビール製造・販売	2022/8/30



寄付報告(7・8月)

■ロータリー財団

2022年7-8月認証

寄付分類	所属クラブ	氏名
メジャードナー	仙台 RC	藤崎 三郎助
マルチプル・フェロー	石巻東 RC	山内 哲
	仙台 RC	笹氣 光壽郎
	仙台 RC	千葉 雅保
	仙台南 RC	和田 達雄

■ロータリー米山記念奨学会

2022年8月認証

寄付分類	所属クラブ	氏名
米山功労者メジャードナー	北上 RC	小原 正至
	仙台西 RC	村山 裕俊
米山功労者マルチプル	北上 RC	藤村 秀一

2022-2023年度行事予定表(10・11月)

10月は「地域社会の経済発展月間」です。10月7日を含む週は「ロータリー学友参加推進週間」です。

日 程	行 事	場 所	
10月	1日(土)	久慈RC創立60周年記念式典	岩手 久慈グランドホテル
	23日(日)	青少年交換派遣生(長期・短期)選考試験	宮城 常盤木学園高校
	23日(日)	第2分区10クラブ協賛 世界ポリオデー街頭募金活動、交流チャリティゴルフ大会	岩手
11月	4日(金)	親睦記念ゴルフ大会	岩手 メイプルカントリークラブ
	5日(土)-6日(日)	地区大会	岩手 盛岡グランドホテル
	19日(土)	ロータリー財団地域セミナー	兵庫 神戸ポートピアホテル
	20日(日)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー	兵庫 神戸ポートピアホテル
	20日(日)	ガバナーノミニー研修セミナー(GNTS)	兵庫 神戸ポートピアホテル
	20日(日)	第2回ガバナー会議他	兵庫 神戸ポートピアホテル
	20日(日)	米山記念奨学会りんご狩り	岩手 一関市近郊
	21日(月)-22日(火)	第51回ロータリー研究会	兵庫 神戸ポートピアホテル

8月3日青森県大雨被害に対して、第2520地区から第2830地区(青森)へ義援金1,000,000円を9月1日に送金したことを報告いたします。

代表幹事 藤村 祐介

お知らせ

裏表紙に、2022年7月1日現在のクラブ毎の会員数を掲載しておりますので、どうぞご覧ください。
11月号では9月30日時点の会員数を掲載する予定です。

編集後記

ガバナー月信4号をお届けします。「暑さ寒さも彼岸まで」。朝晩はめっきり涼しく感じられる季節となりましたが、暑いなかでの天沼ガバナー公式訪問も半分が終了し、10月からは県南や宮城県内のクラブ訪問がスタートします。各クラブの皆様には、これまでの公式訪問報告を感謝致しますとともに、今後のご報告を宜しくお願いします。

今月は、10月のロータリー特別月間「地域社会の経済発展月間」及び「米山月間」にちなみ「盛岡バスセンターの開業にあたって」並びに「米山月間によせて」と題してお二人の方にご寄稿を頂きました。感謝を申し上げます。また、9月4日に開催されたクラブ会長フォーラムにおいて、「会員増強とDEI」をテーマに話し合われた内容を掲載しました。各クラブの活性化に生かして頂ければ幸いです。

さて、ロータリーの友は、創刊70周年を記念して開催する「創刊70周年俳句コンテスト」の作品を募集しております。皆様のご応募をお待ちしております。

また、「友」委員会から、「友誌の購読数が会員数より少ないクラブがあるので、会員数に合わせてほしい」旨の要望がございます。今一度ご確認をお願い致しますとともに、宜しくお取り計らいをお願い申し上げます。(月信担当幹事 藤原 繁)

END POLIO NOW

行動しよう
世界ポリオデー

#endpolio | endpolio.org



10月24日は世界ポリオデー

「ポリオデー ポータルサイト」にはポリオデーのさまざまな情報が掲載されています。まずはアクセスしてご覧ください。

<https://www.endpoliorotary.club/home>



第一分区	会員数
1 久慈 RC	24 (1)
2 二戸 RC	44 (4)
3 種市 RC	17 (0)
4 盛岡 RC	71 (2)
5 盛岡北 RC	35 (3)
6 盛岡西 RC	19 (1)
7 盛岡南 RC	45 (0)
8 盛岡東 RC	25 (1)
9 盛岡中央 RC	23 (3)
10 盛岡西北 RC	43 (4)
11 盛岡滝ノ沢 RC	6 (2)

第二分区	会員数
12 花巻 RC	31 (1)
13 花巻南 RC	33 (1)
14 花巻北 RC	43 (1)
15 北上 RC	37 (3)
16 北上西 RC	16 (3)
17 北上和賀 RC	20 (3)
18 岩谷堂 RC	14 (0)
19 前沢 RC	14 (0)
20 水沢 RC	14 (1)
21 水沢東 RC	31 (3)

第三分区	会員数
22 花泉 RC	9 (3)
23 平泉 RC	12 (0)
24 一関 RC	16 (1)
25 一関中央 RC	16 (5)
26 大船渡 RC	34 (2)
27 大船渡西 RC	36 (7)
28 陸前高田 RC	20 (0)
29 千厩 RC	23 (2)
30 気仙沼 RC	24 (0)
31 気仙沼南 RC	38 (2)

第四分区	会員数
32 釜石 RC	18 (1)
33 釜石東 RC	25 (2)
34 大槌 RC	7 (0)
35 遠野 RC	12 (3)
36 宮古 RC	33 (4)
37 宮古東 RC	20 (1)
38 山田 RC	20 (2)

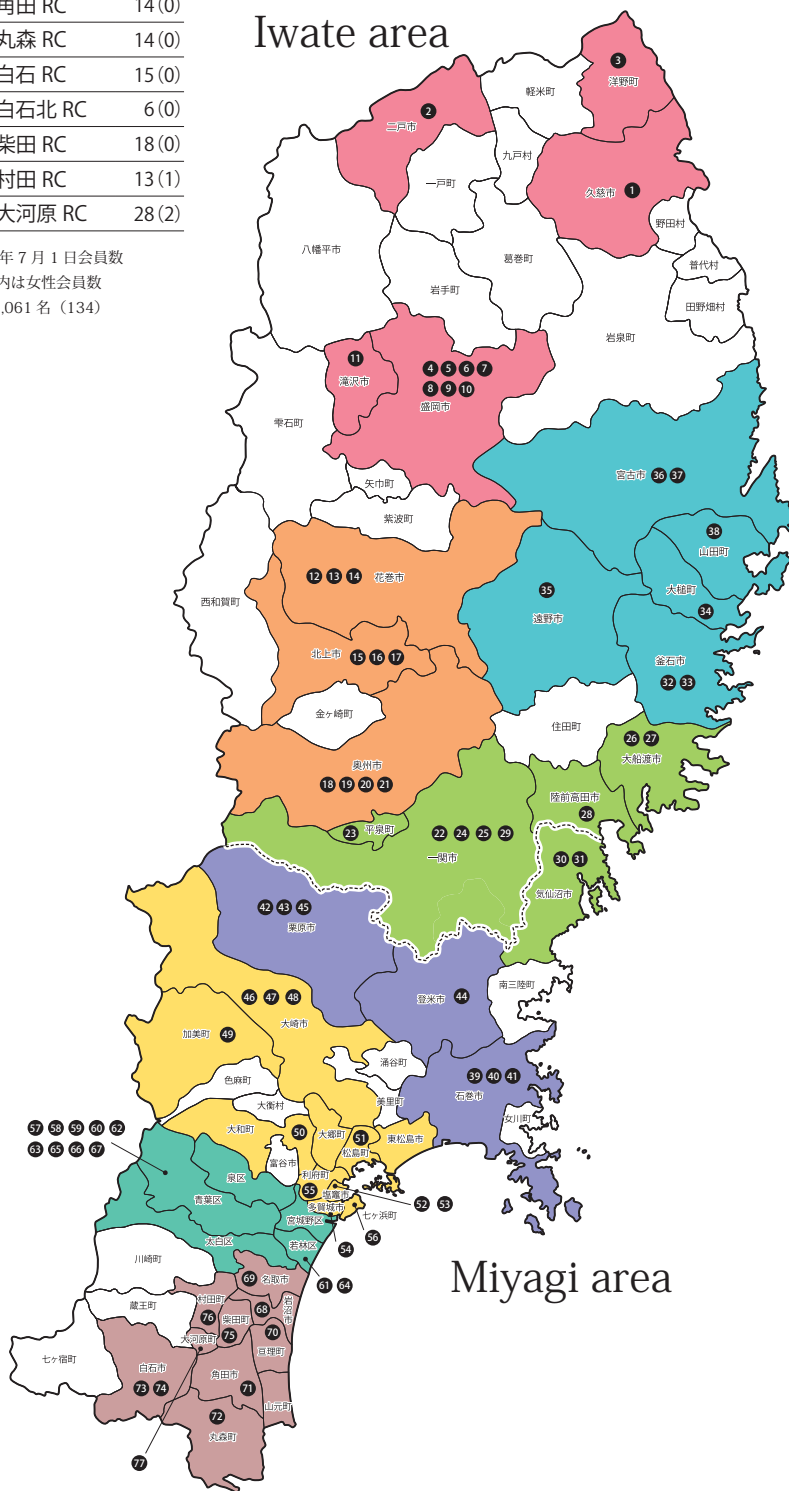
第五分区	会員数
39 石巻東 RC	38 (0)
40 石巻西 RC	30 (1)
41 石巻南 RC	21 (0)
42 栗駒 RC	13 (1)
43 築館 RC	19 (1)
44 佐沼 RC	47 (4)
45 若柳 RC	27 (6)

第六分区	会員数
46 古川 RC	41 (5)
47 古川東 RC	41 (0)
48 岩出山 RC	12 (1)
49 加美 RC	14 (0)
50 大和 RC	5 (0)
51 松島 RC	5 (0)
52 塩釜 RC	32 (1)
53 塩釜東 RC	9 (1)
54 多賀城 RC	26 (5)
55 利府 RC	11 (1)
56 七ヶ浜 RC	12 (0)

第七分区	会員数
57 仙台 RC	118 (2)
58 仙台泉 RC	50 (0)
59 仙台青葉 RC	44 (0)
60 仙台冠 RC	18 (3)
61 仙台レインボー RC	10 (3)
62 仙台南 RC	41 (4)
└ 仙台南-白石R衛星	16 (8)
63 仙台北 RC	56 (0)
64 仙台東 RC	57 (0)
65 仙台西 RC	41 (1)
66 仙台宮城野 RC	26 (2)
67 仙台奥羽 RC	23 (3)

第八分区	会員数
68 岩沼 RC	31 (3)
69 名取 RC	42 (3)
70 亶理 RC	9 (0)
71 角田 RC	14 (0)
72 丸森 RC	14 (0)
73 白石 RC	15 (0)
74 白石北 RC	6 (0)
75 柴田 RC	18 (0)
76 村田 RC	13 (1)
77 大河原 RC	28 (2)

2022年7月1日会員数
 ()内は女性会員数
 合計2,061名 (134)



いわて百景 ④
 平庭高原 (ひらにわこうげん)

標高800m、葛巻町・久慈市にまたがる平庭岳の中腹に位置する広大な平庭高原は、県立自然公園に指定された風光明媚な場所。国道281号の両側に約4kmにわたって白樺林が続き、全体では約370haに約31万本も林立しており、日本一の白樺美林と言われています。カタクリの大群落が目を楽しませてくれる春、草原一帯がレンゲツツジの朱色に染まる初夏、トレッキングやハイキング、キャンプ客でにぎわう夏休みシーズン、シラカバ、カエデ、モミジなどの木々が紅葉する秋、スキーやスノーボードを満喫できる冬と、一年を通して大自然を満喫できる高原です。